

安全で好環境な現場実現を

大林道路関東支店

大林道路関東支店と同支店安全衛生協力は19日、東京・千代田区の学生会館で17年度安全大会を開催し、約330人が参加した。

大会の冒頭、斉藤克巳

安全衛生総括責任者取締役常務執行役員支店長は、「仕事をする上で最優先される安全の責任と義務を果たしていかねればならない。安全行動を順守することはもちろ

ん、マンネリを無くした危険察知で、適切な安全管理を行ってほしい。魅力ある産業のために、安全で好環境な現場を実現しよう」と呼びかけた。

本店から出席した瀧充憲常務執行役員は、「適切な安全管理を行うためには、危険感受性を高める教育を推進することも重要となる。今日という機会を生かし、不安全行動を見直し、安全衛生管理活動につなげていく」と強調した。

大会ではその後、本田平八大林組東京本店建築事業部安全環境部長による来賓祝辞のほか、安全表彰や安全への誓いが行われた。

